

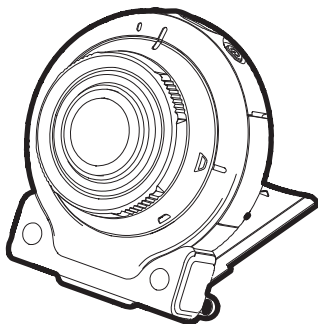
CASIO®

JA

デジタルカメラ

EX-FR200CA

取扱説明書



このたびはカシオ製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

- 本機をご使用になる前に、必ず別冊「クイックスタートガイド」の「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
- 本書はお読みになった後も、大切に保管してください。
- 本製品に関する情報は、カシオデジタルカメラオフィシャルWebサイト (<http://casio.jp/dc/>) またはカシオホームページ (<http://casio.jp/>) でご覧になることができます。

この取扱説明書は、Ver. 1.10のファームウェアを搭載したカメラを対象としています。

カシオメンバーズ会員サイト登録のおすすめ

カシオメンバーズは、カシオ製品にご興味をお持ちの方向けに提供するカシオの会員サイトです。
ご入会されますと以下のサービスをご利用いただけます。

1. 様々なカシオ製品のユーザー登録ができます。
2. キャンペーンの応募などに便利です。
3. 情報満載のメールマガジンをご登録いただけます。

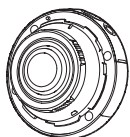
<https://members.casio.jp/jp/>



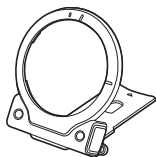
EXILIM エクシリム

付属品を確認する

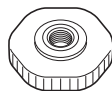
箱を開けたら、以下の付属品がそろっているか確認してください。そろっていないときは、お買い上げの販売店にお問い合わせください。



カメラ
(EX-FR200CA)



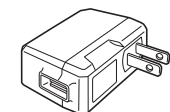
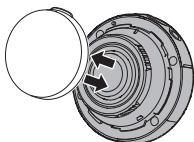
ヒンジユニット
• あらかじめカメラに装着されています。



三脚ナット



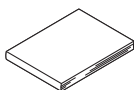
レンズキャップ
• あらかじめカメラに装着されています。



USB-ACアダプター
(AD-C54UJ)



マイクロ
USBケーブル



クイックスタート
ガイド(保証書付き)

あらかじめご承知ください

- 本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤りなど、お気付きのことがありましたらご連絡ください。
- 本書の一部または全部を無断で複写することは禁止されています。また、個人としてご利用になる場合は、著作権法上、当社に無断では使用できません。
- 万一、本機使用や故障により生じた損害、逸失利益または第三者からのいかなる請求についても、当社では一切その責任を負えません。
- 万一、EXILIM ConnectおよびEXILIM 360 Viewer(アプリケーションソフト)の使用により生じた損害、逸失利益または第三者からのいかなる請求についても、当社では一切その責任を負えません。
- 故障、修理、その他の理由に起因するメモリー内容の消失による、損害および逸失利益等につきまして、当社では一切その責任を負えません。
- 取扱説明書に記載している画面やイラストは、実際の製品と異なる場合があります。

必ず電池を充電してお使いください。

カメラには、リチウムイオン充電電池が内蔵されています。お買い上げ後は、電池は充電されていませんので、カメラの電池を充電してからご使用ください。

撮影前は試し撮りを

必ず事前に試し撮りをして、カメラに画像が正常に記録されていることを確認してください。

別売のカメラと一緒に使う

本機は、以下の別売のカメラとBluetooth無線技術で接続することによって、さまざまな撮影を楽しむことができます。本機を初めて使うときは、別売のカメラに付属しているコントローラーとペアリングを行い、本機の日時設定(16ページ)やメモリーカードのフォーマット(19ページ)を行ってください。

- 本機だけで使用する場合は、スマートフォンと無線LANで接続して、上記の初期設定を行ってください。
- 別売のカメラと接続したときの撮影方法は、以下のカメラの取扱説明書をご覧ください。

■ 接続可能なカメラ

- EX-FR100
- EX-FR200
- EX-FR110H

目次

付属品を確認する	2
あらかじめご承知ください	3
別売のカメラと一緒に使う	3
各部の名称	6

■ はじめにご覧ください(基本的な操作) 7

このカメラでできること	7
アタッチメントを使う	8
■ ヒンジユニット	8
■ 三脚ナット	10
箱を開けたら、電池を充電する	11
電源を入れる/切る	15
カメラをスマートフォンと接続する	15
日時を合わせる	16
メモリーカードを準備する	17
■ 使用できるメモリーカード	17
■ メモリーカードを入れる	18
■ 新しいメモリーカードをフォーマット(初期化)する	19

■ 撮影する 20

静止画撮影時のご注意	21
------------	----

■ カメラとスマートフォンを接続する(無線接続) 22

スマートフォンでできること	22
スマートフォンをカメラに接続するための準備	24
■ スマートフォンにEXILIM Connectをインストールする	24
■ 最初に無線接続設定をする	25
スマートフォンをカメラのリモコンとして使う... (スマートフォンで撮影)	28
カメラで撮影した画像をスマートフォンで見る... (スマートフォンから見る)	29
撮影した画像をスマートフォンに自動で送信する... (自動送信)	29
スマートフォンとのペアリングを解除する... (ペアリング解除)	29
カメラのファームウェアのバージョンを確認する... (バージョン情報)	29

■ 別売のカメラに付属しているコントローラーで本機を操作する 30

カメラをコントローラーに登録する	30
カメラのファームウェアのバージョンを確認する... (バージョン情報)	30

■ プリント(印刷)する 31

パソコンを使って印刷する	31
--------------	----

■ パソコンを利用する

32

パソコンを使ってできること	32
Windowsパソコンを利用する	32
■ 画像をパソコンに保存する／パソコンで見る	33
Macintoshを利用する	36
■ 画像をパソコンに保存する／パソコンで見る	37
ファイルとフォルダーについて	39
メモリー内のデータについて	40
さらにお楽しみいただくために	41

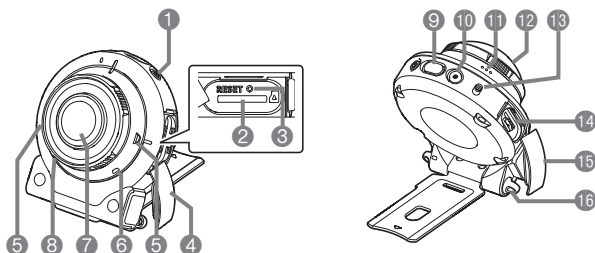
■ 付録

42

耐衝撃性能、防水／防塵性能について	42
使用上のご注意	45
電源について	51
■ 充電について	51
■ 電池に関するご注意	52
■ 海外で使うときは	52
カメラを廃棄するときは	52
メモリーカードについて	54
リセット操作でリセットされる内容	55
故障かな？と思ったら	56
■ 現象と対処方法	56
撮影可能枚数／撮影可能時間	58
主な仕様／別売品	60
索引	63

各部の名称

各部の説明が記載されている主なページを()内に示します。



- | | | |
|-----------------------------|------------------------------|-------------------------------|
| ①【 ⏻ 】(電源) (15ページ) | ⑧ 無線LAN接続確認ランプ (27、28ページ) | ⑮【 USB 】カバー (11、13ページ) |
| ②メモリーカード挿入部 (18ページ) | ⑨ シャッター (20ページ) | ⑯ ストラップ取り付け部 |
| ③リセットボタン (56ページ) | ⑩【 ● 】(ムービー) (20ページ) | |
| ④【 CARD 】カバー (18ページ) | ⑪スピーカー | |
| ⑤マイク (10、20ページ) | ⑫カバーレンズ※ | |
| ⑥動作確認ランプ (11、13ページ) | ⑬【 FREE 】レバー (9ページ) | |
| ⑦レンズ (10ページ) | ⑭【 USB 】端子 (11、13ページ) | |

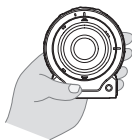
※カバーレンズは取り外さないでください。取り外すとカメラの防水/防塵性能が保てなくなります。

はじめにご覧ください(基本的な操作)

このカメラでできること

このカメラの代表的な機能を紹介します。

■ 撮る

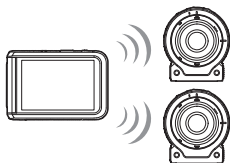


さまざまなスタイルで撮影

ヒンジユニットや三脚ナットを使って、さまざまな角度から撮影できます。

→ 8ページ

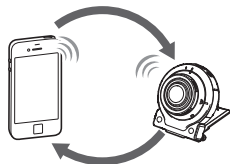
■ 2台のカメラを使う



マルチカメラモード

別売のカメラに付属しているコントローラーを使って本機を操作したり、別売のカメラと一緒に撮影できます。マルチカメラモードについて詳しくは、別売のカメラの取扱説明書をご覧ください。

■ 共有する



無線接続

スマートフォンをカメラのリモコンとして使ったり、撮影した画像をスマートフォンにコピーできます。

→ 22ページ

アタッチメントを使う

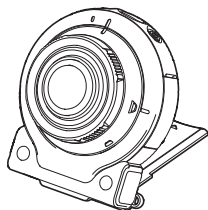
本機は、ヒンジユニットを使うことでカメラに付属品や別売品の各種アタッチメントを取り付けることができる構造になっています。目的に応じたスタイルで撮影してください。

※ 重要

- レンズ面が指紋やゴミなどで汚れていると、カメラ本体の性能が十分に発揮されませんので、レンズ面には触れないでください。レンズ面の汚れは、ブローアー等でゴミやホコリを軽く吹き払ってから、乾いた柔らかい布で軽く拭いてください。

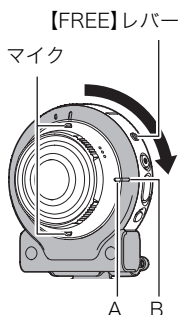
ヒンジユニット

■ ヒンジユニットをスタンド形状にして使用する



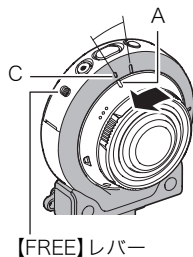
■ 撮影方向を90度変更する

1. カメラの【FREE】レバーを引き下げながら、カメラを時計回りに“カチッ”と音がするまで90度回す
 - マーク“A”をヒンジユニットのマーク“B”に合わせます。
 - マイクがある方が撮影される画像の向き(水平方向)を示します。

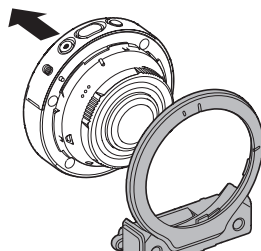


■ ヒンジユニットを取り外す

1. カメラの【FREE】レバーを引き下げながらカメラを反時計回りに約15度回し、マーク“A”をヒンジユニットのマーク“C”に合わせる

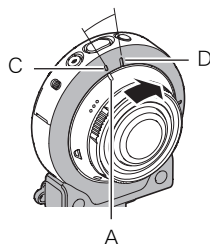


2. ヒンジユニットをカメラから取り外す



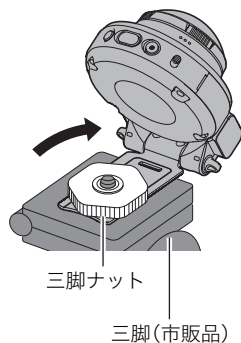
■ ヒンジユニットを取り付ける

1. マーク“A”にヒンジユニットのマーク“C”を合わせる
-
2. カメラを時計回りに約15度回してマーク“A”にヒンジユニットのマーク“D”を合わせ、ヒンジユニットを固定する



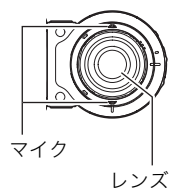
三脚ナット

1. 三脚ナットの固定ネジで三脚(市販品)とヒンジユニットを固定する



参考

- 撮影するときは、シャッターを静かに押し、シャッターを押し切った瞬間とその直後はカメラが動かないようにしてください。
- 指やストラップが図に示す部分をふさがないようにしてください。



箱を開いたら、電池を充電する

カメラには、リチウムイオン充電電池が内蔵されています。お買い上げ後、電池は充電されていませんので、カメラの電池を充電してからご使用ください。

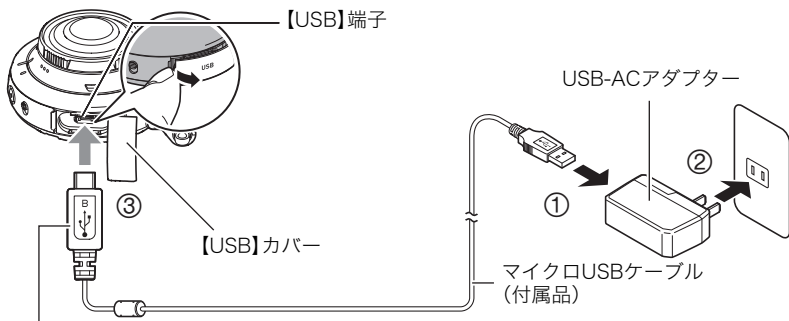
電池は次の2種類の方法で充電できます。

- USB-ACアダプター(AD-C54UJ)を使って充電する
- パソコンのUSB端子から充電する(付属のマイクロUSBケーブルを使用)

■ USB-ACアダプターで充電する

カメラの電源が切れた状態で、①、②、③の順に接続します。

充電時間: 約2時間45分



小さいコネクタ(マイクロUSBコネクタ)の◀▶マークをレンズ側にして差し込みます。

- カメラからアダプターを外す場合は、必ずカメラ側(上の図の③)から先に外してください。

参考

- USB-ACアダプターで充電中でも、カメラの電源を入れると撮影などの操作ができます。ただし、充電が停止します。

■ 動作確認ランプの動作

電源が切れた状態のとき

動作	内容
赤点灯	充電中
赤点滅	内部温度の異常/USB-ACアダプターの異常/ 電池の異常(51ページ)/タイマーによる充電終了
消灯	充電完了

電源を入れたとき

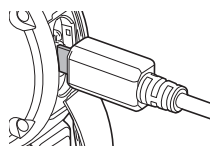
動作	内容	
緑点灯	カメラ動作中	充電停止
赤点灯	スリープ	充電中
赤と緑が素早く点滅		内部温度の異常/USB-ACアダプターの異常/ 電池の異常(51ページ)/タイマーによる充電終了
緑がゆっくり点滅		充電完了

重要

- 長期間電池を使わなかった場合や周囲の温度によっては、充電時間がさらに延びる場合があります。また、動作確認ランプが赤く点滅することがあります。その場合は、51ページをご覧ください。
- 充電中、USB-ACアダプターは若干熱を持ちますが、故障ではありません。

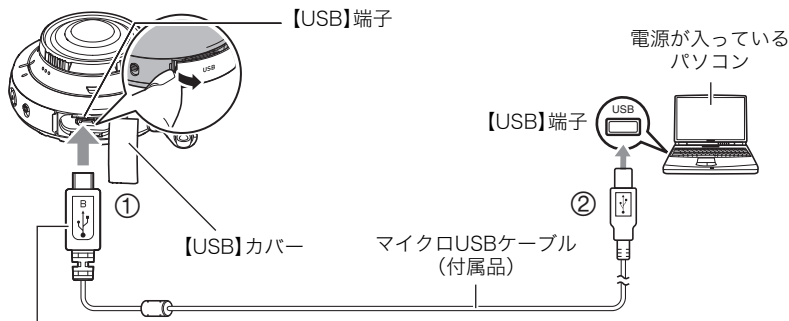
充電中に動作確認ランプが点灯または点滅しない場合は、USBケーブルの向きを確認してみてください。

- USBケーブル接続時は、ケーブルのコネクタをカチッとクリック感があるまでカメラへ押し込んでください。完全に挿入しないと、通信不良や製品の故障の原因となります。
- 完全に挿入しても、イラストのようにコネクタの金属部が見えます。



■ パソコンのUSB端子から充電する

カメラの電源が切れた状態で、①と②の接続をします。



小さいコネクタ(マイクロUSBコネクタ)の◀マークをレンズ側にして差し込みます。

- カメラの電源が入っているときは、パソコンに接続する前に【⏻】(電源)を約2秒間押し続けて電源を切ってください。

充電時間:約3時間35分

参考

- パソコンで充電中にカメラの電源を入れると、充電を継続したままパソコンとのUSB通信状態に移行します。ただし、パソコンの種類や接続環境により給電能力が低い場合は、充電が停止します。

■ 動作確認ランプの動作

電源が切れた状態のとき

動作	内容
赤点灯	充電中
赤点滅	内部温度の異常/USB-ACアダプターの異常/ 電池の異常(51ページ)/タイマーによる充電終了
消灯	充電完了

電源を入れたとき

動作	内容
緑点灯	充電停止
赤と緑が素早く点滅	内部温度の異常／USB-ACアダプターの異常／電池の異常(51ページ)／タイマーによる充電終了

重要

- 初めてカメラをパソコンにUSBケーブルで接続したとき、パソコンにエラーメッセージが表示されることがあります。その場合はUSBケーブルを一度抜き差ししてください。
- 長期間電池を使わなかった場合や、パソコンの種類や接続環境によっては、充電時間がさらに延びる場合があります。また、動作確認ランプが赤く点滅することがあります。その場合は、51ページをご覧ください。
- より早く充電を完了するためには、付属のUSB-ACアダプターで充電することをおすすめします。
- パソコンが休止状態のときは充電できません。

その他充電についてのご注意

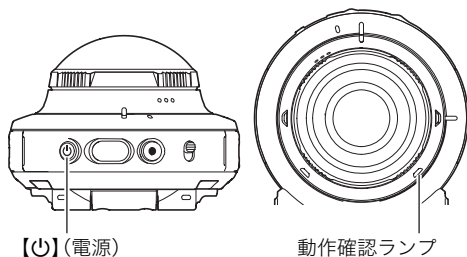
- 充電電池は本書指定の方法で充電してください。
- 本機はUSB2.0準拠のUSB端子からのみ充電できます。
- USB充電に対応する機器や電源機器には、一定の規格があります。粗悪なもの、規格から外れるもののご使用は、機器の誤動作、故障の原因になることがあります。
- 自作のパソコンや改造したパソコンでの動作は保証できません。市販のパソコンでもUSBポートの仕様によっては、USBケーブルを接続しても充電されないことがあります。
- 使用直後の熱くなった電池は、十分に充電されない場合があります。電池が冷めるのを待ってから充電してください。
- 電池は使用しない場合でも、自己放電します。必ず充電してからご使用ください。
- 充電中、テレビやラジオに雑音が入ることがあります。その場合、テレビやラジオからできるだけ離れたコンセントをご使用ください。
- 充電時間は、電池の容量や残量、使用環境によって若干変化します。
- USB-ACアダプター(AD-C54UJ)は本機以外には使用しないでください。
- 充電は、本書で指定したUSB-ACアダプター、USBケーブルをご使用ください。指定以外のもので充電した場合は、正しく充電できないことがあります。
- 電池が消耗している状態でカメラを約7日放置すると、日時の設定がリセットされます。その場合は、別売のカメラに付属しているコントローラー(3、16ページ)または専用アプリEXILIM Connectで日時を設定してください。詳しくは、別売のカメラまたはEXILIM Connectの取扱説明書をご覧ください。

電源を入れる／切る

■ 電源を入れる

【**⏻**】(電源)を押します。

- 電源が入ると、カメラの動作確認ランプが緑色に点灯します。
この状態で撮影が可能です。



スリープモードについて

カメラを30秒以上操作しないと、スリープモードになります。

スリープモード中は、動作確認ランプが緑色でゆっくり点滅します。スリープモード中も、シャッターまたは【**●**】(ムービー)を押して撮影することができます。

■ 電源を切る

カメラの【**⏻**】(電源)を約2秒間押し続けます。

- 電源オフ時には、カメラから終了音が鳴ります。カメラの電源は、処理終了後に切れます。

カメラをスマートフォンと接続する

本機の設定はスマートフォンにインストールした専用アプリEXILIM Connectで行うため、本機をスマートフォンに接続する必要があります。

「カメラとスマートフォンを接続する(無線接続)」(22ページ)でEXILIM Connectをスマートフォンにインストールし、本機をスマートフォンに接続してください。

日時を合わせる

カメラとスマートフォンを接続させた状態で、専用アプリEXILIM Connect(23ページ)で時計を設定してください。

1. スマートフォンでEXILIM ConnectのTOP画面の“”をタップする

2. スマートフォンで“カメラのセットアップ”をタップする

3. スマートフォンで“日時設定”をタップする

4. “実行”をタップする

カメラの日時がスマートフォンの日時に修正されます。

参考

- 専用アプリEXILIM Connectでカメラの時計を設定すると、カメラのタイムゾーンはスマートフォンのタイムゾーンに合わせて自動的に切り替わります。
- 別売のカメラに付属しているコントローラーでも時計を設定できます。詳しくは別売のカメラの取扱説明書をご覧ください。

メモリーカードを準備する

撮影する画像を保存するため、市販のメモリーカードをご用意ください(本機にメモリーカードは付属していません)。本機はメモリーを内蔵しており、この内蔵メモリーだけでも数枚程度の静止画や短い動画の撮影はできます。メモリーカードを入れているときはメモリーカードに、入れていないときは内蔵メモリーに記録されます。

- 内蔵メモリーに保存した静止画や動画は、カメラ内でメモリーカードにコピーはできません。
- 保存できる枚数については58ページをご覧ください。

使用できるメモリーカード

- microSDメモリーカード
- microSDHCメモリーカード
- microSDXCメモリーカード



- 使用できるメモリーカードの種類は2016年5月現在のものです。
- microSD規格に準拠したメモリーカードに対応しており、規格上の容量は、microSDメモリーカードが2GB以下、microSDHCメモリーカードが2GB超～32GB以下、microSDXCメモリーカードが32GB超～2TB以下となります。前記のメモリーカードであっても、容量をはじめ、すべてのカードで動作を保証するものではありません。

当社で動作確認されたメモリーカードをおすすめします。具体的なメーカー名や対応容量などの詳細は、カシオデジタルカメラオフィシャルWebサイトの「デジタルカメラお客様サポートメニュー」(<http://casio.jp/support/dc/>)をご覧ください。別冊「クイックスタートガイド」に記載の「お客様相談窓口」にお問い合わせください。

警告

- メモリーカードは小さいため、乳幼児が誤って飲み込む可能性があります。乳幼児の手の届かない場所に保管してください。万一、飲み込んだ場合は、ただちに医師に相談してください。

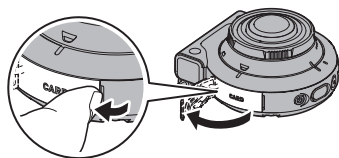


■ メモリーカードのご使用上の注意

メモリーカードの種類によっては、処理速度が遅くなる場合があります。特に高品位の動画は正常に記録できない場合があります。また、使用するメモリーカードによっては、記録時間がかかるため、画像が一瞬途切れたり、音声が中断する場合があります。

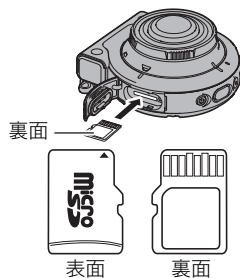
メモリーカードを入れる

1. カメラの【**Q**】(電源)を約2秒間押し続けて電源を切り、カメラの【CARD】カバーを開ける

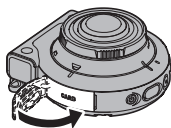


2. メモリーカードを入れる

メモリーカードの裏面をレンズ側にして、メモリーカード挿入口にカチッと音がするまで押し込みます。



3. 【CARD】カバーを閉じる

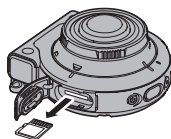


重要

- メモリーカード挿入口には指定のメモリーカード(17ページ)以外のものは入れないでください。
- 万一異物や水がメモリーカード挿入部に入り込んだ場合は、本機の電源を切って、別冊「クイックスタートガイド」に記載の「修理に関するお問い合わせ窓口」またはお買い上げの販売店にご連絡ください。

■ メモリーカードを交換する

メモリーカードを押すとカードが少し出てきますので、引き抜いて別のメモリーカードを入れます。



★ 重要

- メモリーカードの交換は、カメラ本体の電源を切ってから行ってください。電源が入った状態で行うと、撮影された画像が記録されなかったり、メモリーカードを破壊する恐れがあります。

新しいメモリーカードをフォーマット(初期化)する

本機で初めて使用するメモリーカードは、カメラとスマートフォンを接続させた状態で、専用アプリEXILIM Connect(23ページ)でフォーマットしてください。

1. スマートフォンでEXILIM ConnectのTOP画面の“”をタップする
2. スマートフォンで“カメラのセットアップ”をタップする
3. スマートフォンで“フォーマット”をタップする
4. “OK”を2回タップする

★ 重要

- すでに静止画などが保存されているメモリーカードをフォーマットすると、その内容がすべて消去されます。フォーマットは通常行う必要はありませんが、画像の記録速度が遅くなったなどの異常が見られる場合にフォーマットしてください。
- メモリーカードをフォーマットするときは必ずEXILIM Connectまたは別売のカメラに付属しているコントローラーでフォーマットしてください。パソコンでフォーマットするとSD規格非準拠となり、処理速度が著しく遅くなるなど、互換性や性能等で問題が生じる場合があります。
- コントローラーでのフォーマット操作について詳しくは、別売のカメラの取扱説明書をご覧ください。

撮影する

カメラ単体で静止画や動画を撮影することができます。カメラをお買い上げ直後は、全天周の画像が撮影されます。

1. カメラの電源を入れる(15ページ)

カメラが撮影モードで起動します。

2. カメラのシャッターを押す

全体にピントを合わせて、静止画が撮影されます。

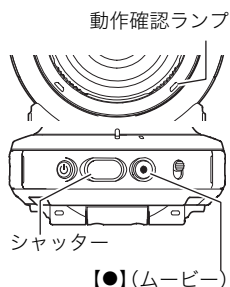
- 静止画を撮影すると、動作確認ランプが赤色に一度点灯します。

動画を撮影するには

カメラの【●】(ムービー)を押すと動画の撮影が開始されます。

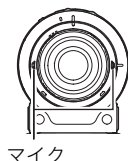
再度【●】(ムービー)を押すと、撮影を終了します。

- 動画を撮影中は、動作確認ランプが赤色に点滅します。
- 撮影可能な動画は、1ファイル最長29分間、または1ファイルが最大4GBまでです。それを超えると自動的に撮影は終了します。また、撮影中にメモリーがいっぱいになると、撮影は途中で終了します。



重要

- 動画を長時間撮影した場合、本機は若干熱を持ちますが、故障ではありません。
- 動画は音声も同時に記録されますので、次の点に注意してください。
 - 指などでマイクをふさがないでください。
 - 録音の対象がカメラから遠くに離れると、きれいに録音されません。
- 高い気温など高温の環境で動画を長時間撮影した場合、撮影画像にノイズ(輝点)が入ることがあります。また、内部温度の上昇により動画撮影の途中で強制的に動画撮影が終了する場合があります。その場合は本機の温度が下がってから動画撮影するようにしてください。
- 内蔵メモリー使用時やメモリーカードの種類によっては、処理速度が遅くなる場合があります。特に高品位の動画は正常に記録できない場合があります。また、使用するメモリーカードによっては、記録時間がかかるため、画像が一瞬途切れたり、音声が中断する場合があります。



参考

- 撮影の設定は専用アプリEXLILM Connectまたは別売のカメラに付属しているコントローラーで変更できます。詳しくはEXLILM Connectまたは別売のカメラの取扱説明書をご覧ください。

静止画撮影時のご注意

操作について

- 不要な光がレンズに当たるときは、手でレンズを覆って撮影してください。

蛍光灯の部屋での撮影について

- 蛍光灯のごく微妙なちらつきにより、撮影画像の明るさや色合いが変わることがあります。

その他のご注意

- CMOS撮像素子の原理上、動きの速い被写体が歪むことがあります。

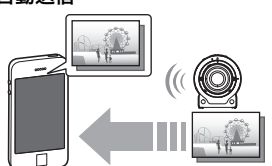


カメラとスマートフォンを接続する(無線接続)

スマートフォンでできること

本機はBluetooth無線技術での接続機能と無線LAN接続機能の2つを搭載しています。本機とスマートフォンを無線で接続すると、次のことができます。操作には、スマートフォンに専用アプリEXILIM Connectをインストールする必要があります。

- 本機はBluetooth® Smart機器です。
- 本機とBluetooth Smart対応のスマートフォンをBluetooth無線技術で接続することができます。なお、カメラとスマートフォンを接続するBluetooth無線技術は、カメラとコントローラーを接続するBluetooth無線技術とは異なる技術となります。



できること	内容
自動送信  An illustration showing a smartphone on the left and a camera on the right. A large arrow points from the camera to the smartphone, indicating data transfer. There are also smaller arrows and signal waves between them, representing the Bluetooth connection.	Bluetoothでペアリング済みのスマートフォンに、撮影画像を自動で送信できます(29ページ)。
スマートフォンで撮影  An illustration showing a hand holding a smartphone in the foreground. In the background, a group of people is sitting at a table. A camera is shown in the foreground, with a dashed arrow pointing from the smartphone to it, indicating remote control.	スマートフォンを使用して、離れたところからカメラを操作して撮影できます(28ページ)。
スマートフォンから見る  An illustration of a woman holding a smartphone. A speech bubble above her phone shows three photo thumbnails. A camera is shown below her phone, with a dashed arrow pointing from it to the phone, indicating image transfer.	カメラに保存されている静止画をスマートフォンで見たり、静止画や動画をスマートフォンにコピーして見ることができます(29ページ)。

重要

- 航空機内など無線通信の使用が制限または禁止されている場所では、本機を使用しないでください。
- スマートフォンの機種によっては、受け取った動画をスマートフォンで再生できないことがあります。
- カメラがスマートフォンと接続中の場合は、カメラ本体のシャッターや【●】(ムービー)を押しても撮影できません。
- スマートフォン、OSのバージョン、ストレージの空き状況によって、動画や静止画がスマートフォンに保存されないことがあります。スマートフォンで画像を受信したあとは、スマートフォンで保存されていることを確認してください。
- Android™端末で受け取った動画について
 - “ギャラリー”アプリには動画は表示されません。動画はEXILIM Connectフォルダーに保存されます。
 - 再生には、動画(拡張子がMOVの動画ファイル)が再生できる動画プレーヤーが別途必要です。
 - お使いの動画プレーヤーによっては、動画が再生できなかったり、音声がでないことがあります。
- 本機以外で撮影された画像の場合は、送信できないことがあります。

参考

- 無線機能を使用すると、通常よりも消費電力が大きくなります。電池が十分に残っている状態で使用してください。
- 操作可能範囲は、通信環境や接続するスマートフォンの機種によって変わります。

■ EXILIM Connectについて

専用アプリEXILIM Connectの詳しい情報については、EXILIM Connectの取扱説明書(下記のWebサイトからダウンロードすることができます)を参照ください。

<http://www.exilim.com/manual/>

- EXILIM Connectの取扱説明書をダウンロードする場合は、最初に言語(Japanese/日本語)を選択してください。
- EXILIM Connectの取扱説明書(PDF版)を見るためにはAdobe Reader をインストールする必要があります。取扱説明書を見ることができない場合は、「お客様相談窓口」にお問い合わせください。

スマートフォンをカメラに接続するための準備

スマートフォンに専用アプリEXILIM Connectをインストールすると、スマートフォンをカメラのリモコンとして使ったり、撮影した画像をスマートフォンに転送できます。専用アプリEXILIM Connectは、Google Play™またはApp StoreでEXILIM Connectを検索して、スマートフォンにインストールしてください。

専用アプリEXILIM Connectが対応しているOS(AndroidまたはiOS)のバージョンは、Google PlayおよびApp Storeのダウンロードサイト、またはカシオデジタルカメラオフィシャルWebサイト(<http://casio.jp/dc/>)で確認してください。

■ アプリの動作保証について

EXILIM Connect(アプリ)は、すべてのスマートフォンまたはタブレットで動作を保証するものではありません。

重要

- アプリの機能および動作環境は、予告なしで変更される場合があります。

スマートフォンにEXILIM Connectをインストールする

■ Android端末の場合

1. “Playストア”(Google Play)を開く

2. 検索フィールドに“EXILIM Connect”と入力する

3. “EXILIM Connect”をインストールする

■ iPhone(iOS)の場合

1. “App Store”を開く

2. 検索フィールドに“EXILIM Connect”と入力する

3. “EXILIM Connect”をインストールする

最初に無線接続設定をする

初めてスマートフォンをカメラに無線で接続するときは、無線接続設定が必要になります。この操作は初回のみ必要になります。

■ Bluetooth Smart対応のスマートフォンの場合


本機とスマートフォンをBluetooth無線技術で接続すること(ペアリング)により、簡単に無線接続設定を行うことができます。

重要

- この操作を行うと、スマートフォンの無線LANの接続設定(27ページ)は自動的に行われます。
- ペアリングは、1台のスマートフォンとしかできません。
- スマートフォンの機種によっては、動作しない場合があります。
- すでにペアリングしている状態で再度ペアリングをすると、一度ペアリングを解除してから、ペアリングし直します。このとき未送信の画像は送信されなくなります。

カメラの操作

1. カメラの【】(電源)を約2秒間押し続けて電源を切る

2. カメラの【】(電源)を6秒以上押し続ける

カメラの動作確認ランプがオレンジ色に点滅します。

スマートフォンの操作

3. “EXILIM Connect”を起動する

4. “カメラとペアリングする”をタップする

5. スマートフォンでペアリングしたいカメラの名前をタップする

カメラとスマートフォンのペアリングが完了し、Bluetooth無線技術で接続されます。

- Android端末の場合は、無線LANの接続設定も自動で行われます。手順9に進んでください。手順9の状態にならないときは、スマートフォンのWi-Fi設定でカメラのSSIDを選び、カメラとスマートフォンを無線LANで接続してください。
- iPhone(iOS)の場合は、引き続き無線LANの接続設定(プロファイルのインストール)を行います。手順6に進んでください。

6. スマートフォンで“インストール”をタップする

スマートフォンの指示に従って無線LAN接続に必要なプロファイルをインストールしてください。

- スマートフォンのパスコードを入力する画面が表示されることがあります。その場合は、スマートフォンのパスコードを入力してください。

-
- 7.** プロファイルのインストールが完了したら、スマートフォンで“完了”をタップする
-
- 8.** スマートフォンの画面に表示された“EXILIM Connect”のアイコンをタップする
- カメラとスマートフォンが無線LANで接続されます。
- iPhone(iOS)を使用している場合で、カメラとスマートフォンが無線LANで接続されないときは、スマートフォンのWi-Fi設定でカメラのSSIDを選び、カメラとスマートフォンを無線LANで接続してください。
-
- 9.** スマートフォンで“OK”をタップする
-
- 10.** スマートフォンの指示に従って、ペアリング操作を完了する

参考

- カメラとスマートフォンの無線接続設定が完了すると、“自動送信”(29ページ)が“入”になります。
- 本機の電源を切ると、Bluetooth無線技術による接続が終了します。
- 自動送信機能の詳しい設定は、別売のカメラに付属しているコントローラーから行うことができます。詳しくは、別売のカメラの取扱説明書をご覧ください。

■ Bluetooth Smart非対応のスマートフォンの場合

スマートフォンの無線LANの接続設定(カメラのSSIDとパスワードの入力)を行います。

1. カメラの【⏻】(電源)を約2秒間押し続けてカメラの電源を切る

2. カメラの【●】(ムービー)を押したまま【⏻】(電源)を1秒以上押し続ける カメラの無線LAN接続確認ランプが青色に点滅します。

3. スマートフォンのWi-Fi設定でカメラのSSIDとパスワードを入力して、カメラとスマートフォンを無線LANで接続する

スマートフォンがカメラに無線LANで接続された状態になると、カメラの無線LAN接続確認ランプが青色に点灯します。

- 無線LANで接続するための設定方法は、スマートフォンによって異なります。無線LAN(Wi-Fi)の接続方法については、スマートフォンの取扱説明書でご確認ください。
 - カメラのSSID(変更不可)とパスワード(初期値)は以下のとおりです。
SSID:同梱の別紙「[重要] 本機のSSID について」をご覧ください。
パスワード:00000000
-

4. スマートフォンで“EXILIM Connect”を起動する

■ スマートフォンとカメラが無線LANで接続できないときは

すでに下記の無線LANと接続している可能性があります。スマートフォンのWi-Fi設定で、カメラのSSIDを選んでください。

- 家庭内の無線LAN
- 公衆無線LAN
- 携帯型無線LAN機器

スマートフォンをカメラのリモコンとして使う (スマートフォンで撮影)

スマートフォンを使用して、離れたところからカメラを操作して撮影(リモート撮影)できます。

■ Bluetooth無線技術で接続中の場合

1. カメラをスリープモードにする

カメラの電源を入れてから30秒以上操作しないとスリープモードになり、カメラの動作確認ランプが緑色でゆっくり点滅します。

2. スマートフォンで“EXILIM Connect”を起動する

3. スマートフォンで“リモートで撮影する”をタップする

4. スマートフォンで撮影範囲を確認しながら撮影する

“スマートフォンで撮影”の詳しい使用方法については、EXILIM Connectの取扱説明書をご覧ください(23ページ)。

■ Bluetooth無線技術で接続できない場合

1. カメラの【**⏻**】(電源)を約2秒間押し続けて電源を切る

2. カメラの【**●**】(ムービー)を押したまま【**⏻**】(電源)を1秒以上押し続ける

カメラの無線LAN接続確認ランプが青色に点滅します。

3. スマートフォンのWi-Fi設定で、カメラのSSIDとパスワードを入力してカメラとスマートフォンを無線LANで接続する

カメラのSSID(変更不可)とパスワード(初期値)は以下のとおりです。

- SSID: 同梱の別紙「[重要] 本機のSSID について」をご覧ください。
- パスワード: 00000000

4. スマートフォンで“EXILIM Connect”を起動する

5. スマートフォンで撮影範囲を確認しながら撮影する

“スマートフォンで撮影”の詳しい使用方法については、EXILIM Connectの取扱説明書をご覧ください(23ページ)。

参考

- USB-ACアダプターでカメラを充電しているときにカメラの電源を入れると、カメラの充電が停止して、USB-ACアダプターから給電されます。ただし、この状態でスマートフォンを使って動画を撮影すると、USB-ACアダプターからの給電も止まり、カメラの電池が消費します。カメラの電池が十分に残っている状態で撮影してください。

カメラで撮影した画像をスマートフォンで見る (スマートフォンから見る)

カメラに保存されている静止画を見たり、静止画や動画をスマートフォンにコピーして見ることができます。操作について詳しくは、EXILIM Connectの取扱説明書をご覧ください(23ページ)。

撮影した画像をスマートフォンに自動で送信する(自動送信)

撮影すると、ペアリングしているスマートフォンに画像が自動で送信されます。画像は、カメラがスリープモードになっているときにスマートフォンに送信されます。スマートフォンと無線で接続していない場合は、スマートフォンと接続できず、画像が送信されません。

- 画像を送信中は、カメラの無線LAN接続確認ランプが点滅または点灯します。画像の送信が終了すると、ランプが消灯します。

参考

- 自動送信できるのは、Bluetooth Smart対応のスマートフォンだけです。また、カメラの画像が自動送信されるには、Bluetoothと無線LANの両方が接続されている必要があります。
- スマートフォンで受け取った画像は以下で確認できます。
 - iPhone: “写真”アプリの“カメラロール”
 - Android端末: “ギャラリー”、“フォト”などの写真閲覧アプリ
- 自動送信機能の詳しい設定は、別売のカメラに付属しているコントローラーから行うことができます。詳しくは、別売のカメラの取扱説明書をご覧ください。

スマートフォンとのペアリングを解除する(ペアリング解除)

本機を他のスマートフォンに接続する場合は、ペアリングを解除して、カメラからペアリング情報を削除してください。

ペアリングは、カメラの【●】(ムービー)とシャッターを押したまま【⏻】(電源)を6秒間押し続けると解除できます。カメラの動作確認ランプが消灯したらペアリングの解除が完了です。

参考

- 上記の操作を行うと、無線LANのパスワードが初期値に戻ります。パスワードの初期値については、27ページをご覧ください
- ペアリングを解除するときは、スマートフォンでもペアリングを解除する操作を行ってください。詳しくは、EXILIM Connectの取扱説明書をご覧ください(23ページ)。

カメラのファームウェアのバージョンを確認する(バージョン情報)

EXILIM Connectでカメラのファームウェアのバージョンが確認できます。詳しくは、EXILIM Connectの取扱説明書をご覧ください(23ページ)。

別売のカメラに付属しているコントローラーで本機を操作する

本機を別売のカメラに付属しているコントローラーと接続することによって、コントローラーで本機を操作したり、本機のさまざまな設定ができます。

ここではコントローラーとの接続のしかたについて説明をしています。操作方法や設定について詳しくは、別売のカメラの取扱説明書をご覧ください。

■ 本機と別売のカメラに付属しているコントローラーの無線接続について

本機と別売のカメラに付属しているコントローラーは、Bluetooth無線技術で接続します。





重要

- 本機は、無線通信機能のBluetooth無線技術での接続機能を搭載しています。飛行機機内などの無線通信機能が制限されている場所では、カメラ単独動作も含めてご使用できません。

カメラをコントローラーに登録する

本機をコントローラーに接続するには、本機をコントローラーに登録する必要があります。

1. カメラにメモリーカードが入っている場合は、メモリーカードを抜く(19ページ)
2. カメラのシャッターを押しながら、【】(電源)を6秒以上押し続ける
カメラの動作確認ランプがオレンジ色に点滅します。
3. コントローラーのシャッターを押しながら、【】(電源)を6秒以上押し続ける
コントローラーの動作確認ランプがオレンジ色に点滅してカメラの登録が始まります。

カメラのファームウェアのバージョンを確認する(バージョン情報)

コントローラーでカメラのファームウェアのバージョンが確認できます。

詳しくは、別売のカメラの取扱説明書をご覧ください。

プリント(印刷)する

お店で プリントする

画像が入ったメモリーカードを、プリントサービスのお店に持参してプリントします。



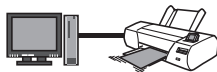
プリンターで プリントする

プリンターのスロットにメモリーカードを直接セットしてプリントできます。詳しくは、プリンターに付属の説明書に従って操作してください。



パソコンを使って プリントする

画像をパソコンに取り込んだ後、市販のプリントソフトを使ってプリントします。



パソコンを使って印刷する

パソコンに保存した画像を印刷する方法はさまざまですが、ここでは、一般的な印刷方法を説明します。

■ Windowsの場合

1. 「画像をパソコンに保存する／パソコンで見る」(33ページ)に従って、画像をパソコンに保存して、印刷したい画像を表示する

2. “印刷”→“印刷”の順でクリックする

3. 印刷内容を設定して、印刷する
印刷内容を設定し、“印刷”をクリックしてください。

■ Macintoshの場合

1. 「画像をパソコンに保存する／パソコンで見る」(37ページ)に従って、画像をパソコンに保存して、印刷したい画像を表示する



2. “ファイル”→“プリント”の順でクリックする

3. 印刷内容を設定して、“プリント”をクリックする
選択した画像が印刷されます。

パソコンを利用する

パソコンを使ってできること

カメラをパソコンに接続して、次のことができます。

パソコンに画像を保存して見る		<ul style="list-style-type: none">• 手動でパソコンに保存して見ることができません(USB接続)(33、37ページ)。
動画を再生・編集する		<ul style="list-style-type: none">• 動画を再生することができます(36、38ページ)。• 動画を編集する場合は、必要に応じて、市販のソフトをご利用ください。

操作のしかたは、Windowsパソコンの場合とMacintoshの場合で異なります。

- Windowsパソコンの場合→「Windowsパソコンを利用する」(32ページ)
- Macintoshの場合→「Macintoshを利用する」(36ページ)

Windowsパソコンを利用する

使用目的	OSのバージョン	必要なソフト
パソコンに手動で画像を保存して表示	Windows 10/ Windows 8.1/ Windows 7/ Windows Vista	インストールする必要はありません。
動画の再生	Windows 10/ Windows 8.1	Windows Media Player 12
	Windows 7/ Windows Vista	拡張子がMOVの動画ファイルを再生できるソフトウェア

- 上記の環境は、動作を保証するものではありません。
- お使いのパソコンの性能、設定状態やインストールされているソフトウェアによっては、正しく動作しない場合があります。

画像をパソコンに保存する／パソコンで見る

カメラをパソコンに接続して、画像(静止画や動画などのファイル)をパソコンに保存したり、パソコンで見ることができます。

内蔵メモリーやメモリーカード内の画像に対して、パソコンで修正・削除・移動・名前の変更などを行わないでください。

画像管理データと整合性がとれず、カメラで再生できなくなったり、撮影枚数が極端に変わったりします。修正・削除・移動・名前の変更などはパソコンに保存した画像で行ってください。

重要

- 画像を見たり保存している途中でケーブルを抜いたり、カメラの操作を行わないでください。データが破壊される恐れがあります。

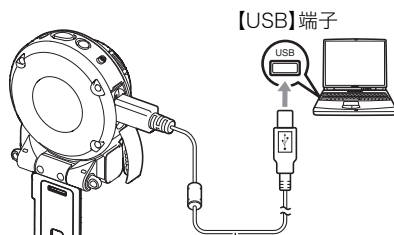
参考

- 市販のカードリーダーやパソコンのカードスロットで、直接メモリーカードから画像を取り込むこともできます。詳しくは、ご使用の機器の取扱説明書をご覧ください。

■ カメラとパソコンを接続してファイルを保存する

1. カメラの【**⏻**】(電源)を約2秒間押し続けて電源を切り、付属のマイクロUSBケーブルでカメラとパソコンのUSB端子を接続する

- カメラとの詳しい接続方法、接続時の注意などについては、13ページをご覧ください。



マイクロUSBケーブル(付属品)

2. カメラの【**⏻**】(電源)を押して、カメラの電源を入れる

カメラの電源が入ると、カメラの動作確認ランプが赤点灯から緑点灯またはオレンジ点灯に切り替わりますので、確認してください(13ページ)。

- 初めてカメラをパソコンにUSBケーブルで接続したとき、パソコンにエラーメッセージが表示されることがあります。その場合はUSBケーブルを一度抜き差ししてください。

3. Windows 10:“スタート”→“エクスプローラー”の順でクリックし、サイドバーにある“PC”をクリックする

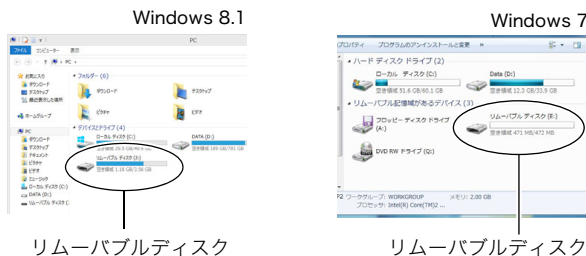
Windows 8.1:“デスクトップ”→“エクスプローラー”の順でクリックする

Windows 7/Windows Vista:“スタート”→“コンピューター”の順でクリックする



4. “リムーバブルディスク”をダブルクリックする

- メモリーカードまたは内蔵メモリーは、「リムーバブルディスク」として認識されています。



5. “DCIM”フォルダーを右ボタンでクリックする



6. メニューの“コピー”をクリックする

7. Windows 10/Windows 8.1:“ドキュメント”をクリックする
Windows 7/Windows Vista:“スタート”→“ドキュメント”の順でクリックする

- すでに“DCIM”フォルダーが保存されている場合は、上書きされてしまいます。すでに保存されている“DCIM”フォルダーの名前を変えるなどしてからコピーしてください。

8. Windows 10/Windows 8.1:“ドキュメント”メニューで、“ホーム”→“貼り付け”の順でクリックする

Windows 7/Windows Vista:“ドキュメント”メニューで、“整理”または“編集”→“貼り付け”の順でクリックする

“DCIM”フォルダー(画像ファイルが保存されているフォルダー)が“ドキュメント”フォルダーにコピーされ、画像も一緒にパソコンに保存されます。

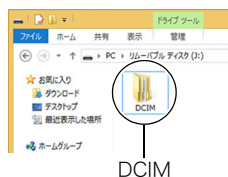
- コピーが完了したら、“DCIM”フォルダーを右ボタンでクリックし、フォルダーの名前を変更することをおすすめします。

9. コピーが終了したらカメラをパソコンから外す

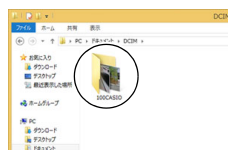
パソコンのモニター上に表示されるコピーや読み込みの進行中の表示が終了してから、表示している画像を閉じ、USBケーブルを外してください。

■ パソコンに保存した画像を見る

1. コピーした“DCIM”フォルダーをダブルクリックして、フォルダーを開く



2. 見たい画像が入ったフォルダーをダブルクリックして開く



3. 見たい画像ファイルをダブルクリックして画像を表示させる

- ファイル名については「メモリー内のフォルダー構造」(40ページ)を参照ください。



■ 動画再生のご注意

- パソコンに動画データを保存してから、その画像ファイルをダブルクリックして再生してください。
ネットワーク上やメモリーカードなどにある動画データを再生しても、正しく再生できない場合があります。
- お使いのパソコンの性能によっては、正しく動作しない場合があります。その場合は以下をお試ください。
 - 開いている他のソフトウェアを閉じたり、常駐ソフトを止める。

Macintoshを利用する

使用目的	OSのバージョン	必要なソフト
パソコンに手動で画像を保存して表示	OS X	インストールする必要はありません。
パソコンに自動的に画像を保存／画像の管理	OS X	一部のMac製品本体に付属の「写真」または「iPhoto」
動画の再生	OS X 10.5以降	QuickTime Player (パソコンにインストール済み)

- 上記の環境は、動作を保証するものではありません。
- お使いのパソコンの性能、設定状態やインストールされているソフトウェアによっては、正しく動作しない場合があります。

画像をパソコンに保存する/パソコンで見る

内蔵メモリーやメモリーカード内の画像に対して、パソコンで修正・削除・移動・名前の変更などを行わないでください。

画像管理データと整合性がとれず、カメラで再生できなくなったり、撮影枚数が極端に変わったりします。修正・削除・移動・名前の変更などはパソコンに保存した画像で行ってください。


重要

- 画像を見たり保存している途中でケーブルを抜いたり、カメラの操作を行わないでください。データが破壊される恐れがあります。
- Mac OS Xの10.0～10.4ではご使用できません。10.5～10.11のみで使用できます(OS標準のUSBドライバーを使用)。

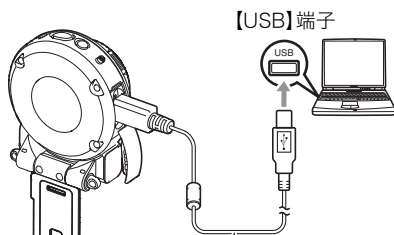
参考

- 市販のカードリーダーやパソコンのカードスロットで、直接メモリーカードから画像を取り込むこともできます。詳しくは、ご使用の機器の取扱説明書をご覧ください。

■ カメラとパソコンを接続してファイルを保存する

1. カメラの【】(電源)を約2秒間押し続けて電源を切り、付属のマイクロUSBケーブルでカメラとパソコンのUSB端子を接続する

- カメラとの詳しい接続方法、接続時の注意などについては、13ページをご覧ください。



マイクロUSBケーブル(付属品)

2. カメラの【】(電源)を押して、カメラの電源を入れる

カメラの電源が入ると、カメラの動作確認ランプが赤点灯から緑点灯またはオレンジ点灯に切り替わりますので、確認してください(13ページ)。

パソコンは、カメラ内のメモリーカードまたは内蔵メモリーを「ドライブ」として認識します。Mac OSのバージョンにより、表示されるアイコンが異なる場合があります。

- 初めてカメラをパソコンにUSBケーブルで接続したとき、パソコンにエラーメッセージが表示されることがあります。その場合はUSBケーブルを一度抜き差ししてください。

3. 表示されたドライブをダブルクリックする

4. “DCIM”フォルダーをデスクトップにドラッグアンドドロップして、画像をパソコンにコピーする



5. コピーが終了したらドライブを“取り出し”または“ゴミ箱”へドラッグアンドドロップする

6. カメラをパソコンから外す

パソコンのモニター上に表示されるコピーや読み込みの進行中の表示が終了してから、表示している画像を閉じ、USBケーブルを外してください。

■ パソコンに保存した画像を見る

1. 表示されたドライブをダブルクリックする

2. “DCIM”フォルダーをダブルクリックして、フォルダーを開く

3. 見たい画像が入ったフォルダーをダブルクリックして開く

4. 見たい画像ファイルをダブルクリックして画像を表示させる

・ ファイル名については「メモリー内のフォルダー構造」(40ページ)を参照ください。

■ 動画再生時のご注意

- ・ パソコンに動画データを保存してから、その画像ファイルをダブルクリックして再生してください。
ネットワーク上やメモリーカードなどにある動画データを再生しても、正しく再生できない場合があります。
- ・ お使いのMacintoshの性能によっては、正しく動作しない場合があります。その場合は、以下をお試しください。
 - 実行中の他のソフトウェアを終了する

ファイルとフォルダーについて

本機では、撮影した静止画などのひとつひとつが個別のデータとして記録されます。個別のデータのことを「ファイル」と呼びます。各ファイルは、「フォルダー」と呼ばれるまとまりにグループ分けされます。ファイル、フォルダーには、区別のための名前が自動的に付きます。

- フォルダー構造の詳細は、「メモリー内のフォルダー構造」(40ページ)をご覧ください。

	名前と最大作成数	例
ファイル	"CIMG0001"から"CIMG9999"までで、最大9999個のファイルが1つのフォルダーに作成されます。拡張子は記録したファイルの形式によって異なります。	26番目に記録した ファイル名: CIMG0026.JPG └─┬─┘ 連番(4桁) 拡張子
フォルダー	"100CASIO"から"999CASIO"までで、最大900のフォルダーが作成されます。	連番100のフォルダー名: 100CASIO └─┘ 連番(3桁)

- フォルダー名、ファイル名は、パソコンで見ることができます。
- 保存できるフォルダー数、ファイル数は、サイズや画質、メモリーカードの容量によって異なります。

メモリー内のデータについて

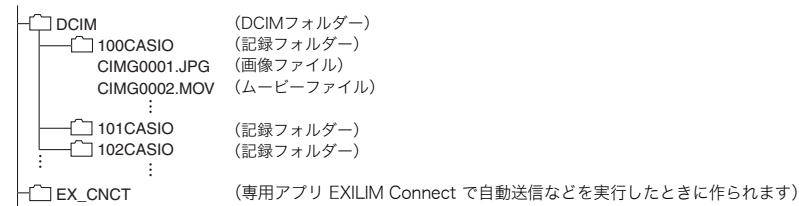
本機で撮影された画像は、DCF (Design rule for Camera File system) 規格に準拠した方法でメモリーへ保存されます。

■ DCF規格について

- 本機で撮影した画像をDCF規格対応の他社のカメラで見ることができます。
 - 本機で撮影した画像をDCF規格対応の他社のプリンターで印刷することができます。
 - DCF規格対応の他社のカメラの画像を本機で見ることができます。
- ただし、上記項目の動作はすべて保証するものではありません。

■ メモリー内のフォルダー構造

メモリー



■ このカメラで扱える画像ファイル

- 本機で撮影した画像ファイル
- DCF規格に対応している画像ファイル

DCF規格の画像ファイルでも、使用できない機能がある場合があります。また、本機以外で撮影された画像の場合、再生にかかる時間が長くなる場合があります。

■ パソコン上で内蔵メモリー／メモリーカードを扱うときのご注意

- メモリーの内容をパソコンに保存する際は“DCIM”フォルダーごと保存してください。その際“DCIM”フォルダーの名前を年月日などに変えておくと、あとで整理するときに便利です。ただし、パソコンに保存したファイルをカメラに戻す場合は、フォルダー名をパソコン上で“DCIM”に戻しておいてください。本機では“DCIM”以外の名前のフォルダーは認識されません。“DCIM”フォルダー内の他のフォルダー名を変えた場合も同様です。
- フォルダーやファイルをカメラで正しく認識させるためには、メモリー内のフォルダー構造が40ページのフォルダー構造のとおりである必要があります。

さらにお楽しみいただくために

EX-FR200およびEX-FR200CA専用のパソコン用ソフトウェアEXILIM 360 Viewerをお使いいただくと、次のことができます。

- 撮影モードを“全天周”や“全地球”に設定して撮影した静止画や動画を、色々な視点から全天周画像／全地球画像として見ることができます。
- 静止画や動画の簡単な編集や保存ができます。
- SNSに静止画や動画を送ることができます。

EXILIM 360 Viewerについては、下記のWebサイトをご覧ください。

<http://casio.jp/support/dc/>

- 撮影モードを“全地球”に設定して撮影するためには、本機に加えて以下の別売のカメラとコントローラーが1台ずつ必要です。
 - カメラ: EX-FR200のカメラ部、EX-FR200CAのいずれか
 - コントローラー: EX-FR100、EX-FR200、EX-FR110Hのコントローラー部のいずれか

耐衝撃性能、防水／防塵性能について

本製品は、耐衝撃性能、防水／防塵性能を備えています。

● 耐衝撃性能:

MIL-Standard 810F Method 516.5-Shockを参考に策定した当社独自規格による試験※1をクリアしています。※2

※1 1.3mの高さから合板(ラワン材)への10方向(6面、4稜)の落下試験

※2 衝撃については日常生活における使用での耐衝撃性を想定していますので、投げつけたり、無理な落とし方をするなど、故意に極度な衝撃を与えた場合は壊れる場合がありますのでご注意ください。また、本機の性能に異常がなくても落下衝撃にてキズ等が発生します。

● 防水性能:

JIS/IEC防水保護等級8級(IPX8)※3および6級(IPX6)に相当します。水深1.5mの水中で60分間の連続使用※4ができるほか、あらゆる方向からの水の直接噴流にも耐えられます。※5※6※7

※3 当社の定める指定時間および指定圧力の水中で使用可能なことを意味しています。

※4 当社の定める試験条件によります。

※5 モーターボートや水上バイクなど、水上を高速で移動するような場面では使用できません。

※6 水中での撮影時は、レンズの特性上、画質が低下しますが故障ではありません。

※7 水と空気の性質上、画角が狭くなります。

● 防塵性能:

JIS/IEC防塵保護等級6級(IP6X)に相当します。

★ 重要

- 本製品の耐衝撃性能、防水／防塵性能は、当社試験方法によるもので、無破損・無故障・性能を保証するものではありません。

■ 水中で使用する前のご注意

本機は水深1.5mまでの環境で水中撮影を行うことができますが、以下の点に注意してお使いください。

- 水中や水滴がかかる場所で撮影すると、撮影中や次の撮影時にレンズ部が曇る場合があります。そのようなときは、撮影前にカバー類を開けた状態で本機を市販のシリカゲルと一緒にビニール袋に入れ、製品内部を除湿すると曇りにくくすることができます。
- 【CARD】カバーや【USB】カバーのパッキンとその接触面にゴミ、砂等の異物が付着していないことを確認し、異物が付着している場合は清潔で乾燥した柔らかい布で取り除いてください。たとえ髪の毛1本、砂粒1個など小さなものが挟まっただけでも漏水することがあります。
- 【CARD】カバーや【USB】カバーの防水パッキンにひび割れ、キズ等がないことを確認してください。
- 【CARD】カバーや【USB】カバーは、しっかり閉じてください。
- 水辺や潮風のあたる場所での【CARD】カバーや【USB】カバーの開け閉め、および濡れた手での開け閉めは避けてください。撮影時にレンズ部が曇る原因となります。
- 本機は水中に沈みますので、ストラップを装着するなどして、落とさないようにしてください。
- 本機の防水機能は、海水と真水にのみ対応しています。温泉では使えません。

- ・本機を低温下、または40°C以上の高温になる場所(特に強い太陽光の当たるところ、炎天下の自動車内など)に長時間放置しないでください。防水性能が劣化します。
- ・水中では無線LAN、Bluetooth無線技術での無線通信は使用できません。カメラだけを水中に入れた場合も、水上のスマートフォンには接続できません。

■ 水中で使用中のご注意

- ・水深1.5m以内、水温0°Cから40°Cの範囲内の場所で使用してください。
- ・水中で60分を超えての連続使用はしないでください。
- ・連続して水中で使用した後は、防水用特殊シートの性能を維持するため、15分程度間を空けてから使用してください。
- ・水中での【CARD】カバーや【USB】カバーの開け閉めはしないでください。
- ・本機を持ったまま水中に飛び込まないでください。また、急流や滝など、激しく水のかかる場所で使用しないでください。強い水圧がかかり、漏水や故障の原因になることがあります。
- ・本機を故意に水中に落としたり、水面にたたきつけたりしないでください。漏水することがあります。

■ 水中で使用後のご注意

- ・【CARD】カバーや【USB】カバーは、本機についた水滴や汚れを清潔で乾燥した柔らかい布で十分に拭き取った後、開いてください。
- ・【CARD】カバーや【USB】カバーを開いたとき、カバーの内側表面に水滴がつくことがあります。水滴がついているときは、必ず拭き取ってからご使用ください。水滴が残っていると撮影時にレンズ部が曇る原因となります。

■ 使用後のお手入れについて

砂や泥がついたり、水中で使用した後は、【CARD】カバーや【USB】カバーをしっかりと閉めた状態で、以下の手順に従って本機を水洗いしてください。

1. 真水に浸して洗う

- ・バケツなどに水道水などの真水を入れ、その中に本機を10分程さらし、ゴミ、泥、砂などが良く落ちるように本機を軽くゆすりながら洗います。
- ・汚れたままのレンズ面は、こすらないでください。



2. 水気を拭き取る

- ・清潔で乾燥した柔らかい布で本機の水気を拭き取ってください。水気を拭き取りおえたら、【CARD】カバーと【USB】カバーに水分が残っている場合がありますので、カバーを開けたまま風通しの良い日陰で完全に乾燥させてください。水分が残った状態でカバーを閉めると、撮影時にレンズ部が曇る原因となります。

★ 重要

- ・水洗いは30°C以下の水道水で洗ってください。水漏れや故障の原因となりますので洗剤や熱湯、強い水流で洗わないでください。

- 本機を振り回して水切りしたり、ドライヤーなどで強制的に乾燥させないでください。
- 洗濯機などで洗わないでください。

■ 使用後のご注意

- 高温(40°C以上)や低温(-10°C未満)の場所に放置しないでください。防水性能を保てない場合があります。
- 洗浄、防錆、防曇等の目的で薬品類は使用しないでください。防水性能を保てない場合があります。
- 水中で使用後は、真水にさらしていない状態で60分以上放置しないでください。本機の外観不良、防水性能劣化の原因となります。
- 防水性能を維持するために、1年に一度防水パッキンの交換をお勧めします(防水パッキンの交換は有料になります)。防水パッキンの交換につきましては、別冊「クイックスタータガイド」に記載の「修理に関するお問い合わせ窓口」またはお買い上げの販売店にお問い合わせください。

■ その他のご注意

- 本製品の付属品のUSBアダプターとマイクロUSBケーブルは、防水性能はありません。
- 本機に極度な衝撃が加わると、防水性能を保てない場合があります。
- 寒冷地では本機に水滴が付着していると、凍結することがあります。凍結したままで使用すると故障の原因になります。水滴が付着したまま放置しないでください。
- 取り扱い上の不注意により、万一、水漏れ事故を起こした場合、内部機材(充電機、記録メディアなど)の損害、記録内容、および撮影に要した諸費用などの補償はご容赦願います。
- デジタルカメラの水没事故は、当社では一切その責任を負いかねます。
- 水中使用時の事故(人身事故など)の補償はいたしかねます。

使用上のご注意

■ データエラーのご注意

本機は精密な電子部品で構成されており、以下のお取り扱いをすると内部のデータが破壊される恐れがあります。

- カメラの動作中にメモリーカードを抜いた
- カメラの電源を切ったときに動作確認ランプが緑色に点灯している状態でメモリーカードを抜いた
- 通信中にUSBケーブルが外れた
- その他の異常操作

■ 使用環境について

- 使用可能温度範囲: -10~40°C
- 使用可能湿度範囲: 10~85% (結露しないこと)
- 次のような場所には置かないでください。
 - 直射日光の当たる場所、湿気やホコリ、砂の多い場所
 - 冷暖房装置の近くなど極端に温度、湿度が変化する場所
 - 日中の車内、振動の多い場所

■ 結露について

- 真冬に寒い屋外から暖房された室内に移動するなど、急激に温度差の大きい場所へ移動すると、本機の内部や外部に水滴が付き(結露)、故障の原因となります。結露を防ぐには、本機をビニール袋で密封しておき、移動後に本機を周囲の温度に十分慣らしてから取り出して、数時間放置してください。
- 暖かい部屋や湿度の高いところでカメラのカバー類の開け閉めを行うと、製品内部に暖かい空気や湿度の高い空気がこもり、撮影時にレンズ部が曇る場合があります。そのようなときは、撮影前にカバー類を開けた状態で本機を市販のシリカゲルと一緒にビニール袋に入れ、製品内部を除湿すると曇りにくくすることができます。

■ カバーレンズについて

- 本機のカバーレンズはレンズの保護およびカメラの防水/防塵性能を保つためのものですので、取り外さないでください。

■ レンズについて

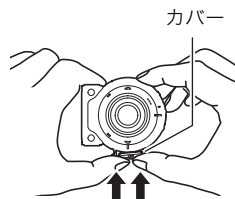
- レンズ面は強くこすったりしないでください。レンズ面に傷が付いたり、故障の原因となります。
- レンズの特長(歪曲収差)により、撮影した画像の直線が歪む(曲がる)場合がありますが、故障ではありません。

■ カメラのお手入れについて

- ・ レンズ面には触れないでください。レンズ面が指紋やゴミなどで汚れていると、カメラ本体の性能が十分に発揮できませんので、プロアー等でゴミやホコリを軽く吹き払ってから、乾いた柔らかい布で軽く拭いてください。
- ・ 本機が汚れた場合は、乾いた柔らかい布で拭いてください。

■ カメラの【CARD】カバー、【USB】カバーの閉じかた

カバーを片手で閉じると、カメラ本体から浮いてしまう場合があります。両手の親指でカバーを左右均等に押し込んで閉じてください。



■ 無線機能(無線LAN、Bluetooth無線技術)の使用上のご注意

- ・ この製品は、無線を利用しているため、周りの機器に影響を与えたり、影響を及ぼされる可能性があります。
- ・ 本機は米国輸出規制(EAR)の対象となり、米国禁輸出国への輸出はできません。

使用周波数について

本機は2.4GHz帯周波数を使用しますが、他の無線機器も同じ周波数を使っていることがあります。

他の無線機器との電波干渉を防止するため、下記事項に留意してご使用ください。

本機は小電力データ通信システムの無線装置を内蔵しております。
使用している周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局など(以下「他の無線局」と略す)が運用されています。

- ・ 本機を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
- ・ 万一、本機と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに本機の使用場所を変えるか、または機器の使用を停止してください。
- ・ その他、電波干渉が発生した場合などお困りのことが起きたときは、「お客様相談窓口」に記載されている連絡先までお問い合わせください。

周波数の見方について

無線LAN

2.4DS/OF2

この無線機は2.4GHz帯を使用します。変調方式としてDS-SSおよびOFDM方式を採用し、与干渉距離は20mです。

Bluetooth
無線技術

2.4FH1/XX2

この無線機は2.4GHz帯を使用します。変調方式としてFH-SSおよびその他の方式を採用し、与干渉距離はFH-SS方式の場合は10m、その他の方式の場合は20mです。

電波転送の傍受について

電波によるデータの送受信は第三者に傍受される可能性があります。あらかじめご了承ください。

不正アクセスについて

紛失や盗難などによって本機に搭載されている接続先への不正アクセスや利用などが行われ、被害や損害が発生しても、当社では一切の責任を負いかねます。

無線機器としての利用について

本製品の無線機能は、この取扱説明書に記載している範囲内でお使いください。それ以外の用途で使用して損害が生じた場合、当社では一切の責任を負いかねます。

磁場・静電気・電波障害について

電子レンジ付近など磁場、静電気、電波障害が発生するところでは本製品を使用しないでください。環境により電波が届かないことがあります。

また、2.4GHz帯の電波を使用しているものの近くで使用すると双方の処理速度が落ちる場合があります。

公衆LANへの接続に関して

本機は公衆無線LAN環境を経由して無線LAN接続することはできません。

仕向地について

本機の無線LAN機能は、日本での利用を前提としています。日本国外での使用は、その国の電波関連規格等に違反するおそれがあり、当社では一切の責任を負いかねます。

■ その他の注意

- ・使用中、本機は若干熱を持ちますが、故障ではありません。
- ・カメラとコントローラーが離れた状態で撮影する場合、コントローラーのシャッターを押して撮影できる範囲は約10mです。また、コントローラーのモニター画面に映像を表示できる範囲は約5mです。

■ 著作権について

カメラで記録した静止画や動画は、個人として楽しむほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。ただし、実演や興行、展示物などの中には、個人として楽しむ目的であっても、撮影を制限している場合がありますので、ご注意ください。また、これらのファイルを有償・無償に関わらず、権利者の許可なく、ネット上のホームページや共有サイトなどに掲載したり、第三者に配布したりすることも著作権法や国際条約で固く禁じられています。たとえば、録画したTV番組やライブコンサートの映像、音楽ビデオなど自分で撮影や録画したものであっても、動画共有サイトなどに掲載したり配付したりすると、他者の権利を侵害する恐れがあります。万一、本機が著作権法上の違法行為に使用された場合、当社では一切その責任を負えませんが、あらかじめご了承ください。

この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

VCCI-B

本文中の以下の用語は、それぞれ各社の登録商標または商標です。なお、本文中には、™マーク、®マークを明記していません。

- microSDXCロゴはSD-3C, LLCの商標です。
- Windows, Windows Vista, Windows 7, Windows 8.1、およびWindows 10は、米国およびその他の国におけるMicrosoft Corporationの登録商標または商標です。
- Macintosh, Mac OS, QuickTime, iPhoto、およびiPhoneは、Apple Inc.の商標です。
- iPhone商標は、アイホン株式会社のライセンスに基づき使用されています。
- Adobe, Reader はAdobe Systems Incorporated(アドビシステムズ社)の米国ならびに他の国における登録商標または商標です。
- AndroidおよびGoogle PlayはGoogle Inc.の登録商標または商標です。
- App StoreはApple Inc.のサービスマークです。
- iOSは米国シスコの商標もしくは登録商標です。
- Wi-FiはWi-Fi Allianceの登録商標です。
- The Bluetooth® word mark and logos are registered trademarks owned by Bluetooth SIG, Inc. and any use of such marks by CASIO COMPUTER CO., LTD. is under license. Other trademarks and trade names are those of their respective owners.

Bluetooth®のワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc. が所有する登録商標であり、カシオ計算機(株)はこれらのマークをライセンスに基づいて使用しています。その他の商標およびトレードネームは、それぞれの所有者に帰属します。

- EXILIM, EXILIM ConnectおよびEXILIM 360 Viewerは、カシオ計算機(株)の登録商標または商標です。
- その他の社名および商品名は、それぞれ各社の登録商標または商標です。

本製品に弊社が提供しているソフトウェアを、無断で営業目的で複製(コピー)したり、頒布したり、ネットワークに転載したりすることを禁止します。

■ オープンソースソフトウェア (Open Source Software) について

本製品には、以下のライセンス条件に基づいてライセンスされているソフトウェアが含まれています。

ping

Copyright (c) 1987 Regents of the University of California.

All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms are permitted provided that the above copyright notice and this paragraph are duplicated in all such forms and that any documentation, advertising materials, and other materials related to such distribution and use acknowledge that the software was developed by the University of California, Berkeley. The name of the University may not be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS" AND WITHOUT ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, WITHOUT LIMITATION, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE.

DNS resolver

Copyright (c) 1985, 1988, 1993

The Regents of the University of California. All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgement:
This product includes software developed by the University of California, Berkeley and its contributors.
4. Neither the name of the University nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE REGENTS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE REGENTS OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY

OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

md5

Copyright (C) 1990, RSA Data Security, Inc. All rights reserved.

License to copy and use this software is granted provided that it is identified as the "RSA Data Security, Inc. MD5 Message-Digest Algorithm" in all material mentioning or referencing this software or this function.

License is also granted to make and use derivative works provided that such works are identified as "derived from the RSA Data Security, Inc. MD5 Message-Digest Algorithm" in all material mentioning or referencing the derived work.

RSA Data Security, Inc. makes no representations concerning either the merchantability of this software or the suitability of this software for any particular purpose. It is provided "as is" without express or implied warranty of any kind.

These notices must be retained in any copies of any part of this documentation and/or software.

充電について

■ 充電中にカメラの動作確認ランプが赤色に点滅したときは

充電中にカメラの動作確認ランプが赤色に点滅したときは、以下のいずれかの場合により充電できないことを示しています。説明に従って処置したあとに、再度充電してください。

周辺温度または電池の温度が、高温または低温状態である場合

USBケーブルを抜いて常温でしばらく放置したあと、周囲の温度が15°C～35°Cの温度範囲で充電を再開してください。

タイマーが働いた場合

電池の未使用期間が長期化した場合や、パソコンの種類や接続環境によっては充電時間が延びる場合があります。充電時間が約5時間を超えると、タイマーが動き、フル充電でない場合でも充電を停止します。

また、電池の未使用期間が更に長期化した場合は約60分で充電を停止することもあります。

1) 長期間充電しなかった場合

USBケーブルを一度抜いて、再度差し込んで充電を再開してください。

2) パソコンで充電する際、接続環境によって十分な電力を供給できない場合

USB2.0準拠のUSB端子からのみ充電できます。500mA程度の電流供給ができるUSBポートに直接差し込んでください。

パソコンの給電能力については、ご使用のパソコンのメーカーにお問い合わせください。USBケーブルを一度抜いて、再度差し込んで充電を再開することもできますが、給電能力が低いパソコンの場合は、この動作を繰り返さないとフル充電にならない場合があります。

上記の処置をしてもエラーが起こる、または5時間を超えても充電が終了しない場合は、電池の不良が考えられます。別冊「クイックスタートガイド」に記載の「修理に関するお問い合わせ窓口」にお問い合わせください。

電池に関するご注意

■ 使用上のご注意

- ・寒い場所では、電池の特性上、十分に充電されていても、使用時間が短くなります。
- ・15°C～35°Cの温度範囲で充電してください。範囲外の温度では、充電時間が長くなったり、十分な充電ができないことがあります。

■ 保管上のご注意

- ・充電された状態で長期間保管すると電池の特性が劣化することがあります。しばらく使わない場合は、使い切った状態で保管してください。
- ・過放電を防止するために、電池は半年に1回くらいの割合で一度フル充電し、カメラで使い切ってから保管してください。

海外で使うときは

■ 使用上のご注意

- ・付属のUSB-ACアダプター(AD-C54UJ)はAC100V～240V、50/60Hzの電源に対応していますが、使用する国・地域によってUSB-ACアダプターのプラグ形状等が異なるため、あらかじめ旅行代理店などにお問い合わせください。
- ・USB-ACアダプターの電源に、電圧変換器等はご使用にならないでください。故障の原因となります。

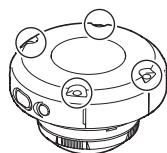
カメラを廃棄するときは

本機を廃棄する場合は、カメラに内蔵のリチウムイオン充電電池を取り出してリサイクルしてください。

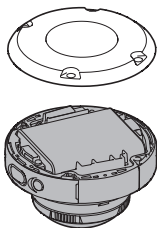
重要

- ・本機の電池はご自分で交換できません。電池を交換したい場合は、別冊「クイックスタートガイド」に記載の「修理に関するお問い合わせ窓口」またはお買い上げの販売店にお問い合わせください。
- ・電池を外すときは、本機の電源を切ってください。
- ・電池をカメラから取り出すときに、パネルの縁で手を切らないようにご注意ください。
- ・ネジを取り外すときは、プラスの精密ドライバーを使用してください。

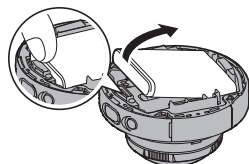
1. 背面のネジを4箇所外す



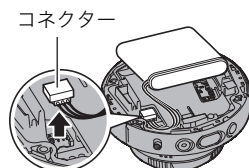
2. 背面カバーを取り外す



3. 図の位置に指を掛けて、電池を取り外す



4. コネクターを上向きに引っ張って取り外す



■ 充電式電池の取り扱いについて(リサイクルのお願い)



不要になった電池は、貴重な資源を守るために廃棄しないで充電式電池リサイクル協力店へお持ちください。

Li-ion 00

＜最寄りのリサイクル協力店へ＞

詳細は、一般社団法人JBRCのホームページをご参照ください。

• ホームページ <http://www.jbrc.com/>

■ 使用済み電池の取り扱い注意事項

- プラス端子、マイナス端子をテープ等で絶縁してください。
- 被覆をはがさないでください。
- 分解しないでください。

メモリーカードについて

使用できるメモリーカード、メモリーカードの入れ方については17ページをご覧ください。

■ メモリーカードについて

- 画像を再生したときに異常が発生した場合などは、フォーマット操作(19ページ)で復帰できますが、外出先などでこの操作ができない場合に備えて複数枚のメモリーカードをお持ちになることをおすすめします。
- メモリーカードは撮影/消去を繰り返すとデータ処理能力が落ちてくるので、定期的にフォーマットすることをおすすめします。
- 静電気、電氣的ノイズ等により、記録したデータが消失または破壊することがありますので、大切なデータは別のメディア(CD-R、CD-RW、ハードディスクなど)にバックアップして控えをとることをおすすめします。

■ メモリーカードのご使用上の注意

- メモリーカードの種類によっては、処理速度が遅くなる場合がありますので、できるだけ超高速タイプのメモリーカードをご使用ください。ただし、超高速タイプのメモリーカードであっても、すべての動作を保証することはできません。動画の画質設定によっては、記録時間がかかるため、画像が一瞬途切れたり、音声が中断する場合があります。
- 当社で動作確認されたメモリーカードをおすすめします。詳しくは、カシオデジタルカメラオフィシャルWebサイトの「デジタルカメラお客様サポートメニュー」(<http://casio.jp/support/dc/>)をご覧くださいか、別冊「クイックスタートガイド」に記載の「お客様相談窓口」にお問い合わせください。

■ メモリーカードやカメラ本体を廃棄/譲渡するときのご注意

専用アプリEXILIM Connectまたは別売のカメラに付属しているコントローラーを操作して、本機に入っているメモリーカードをフォーマットしたり画像を消去しても、メモリーカード内のファイル管理情報だけが変更され、データそのものが変更されないことがあります。メモリーカード内のデータは、お客様の責任において管理してください。たとえば以下のような手法をおすすめします。

- 廃棄の際は、メモリーカード本体を物理的に破壊するか、市販のデータ消去専用ソフトなどを使用してメモリーカード内のデータを完全に消去する。
- 譲渡の際は、市販のデータ消去専用ソフトなどを使用してメモリーカード内のデータを完全に消去する。

また、本機を廃棄・譲渡する場合は、専用アプリEXILIM Connectまたは別売のカメラに付属しているコントローラーを操作して本機をフォーマットして、内蔵メモリーのデータを完全に消去することをおすすめします。

リセット操作でリセットされる内容

専用アプリEXILIM Connectまたは別売のカメラに付属しているコントローラーのリセット操作でリセットされる(初期値になる)内容の一覧表です。

—:この記号の設定項目はリセット操作には影響がありません。

重要

- 撮影モードによって使用できないメニュー項目があります。


■ 撮影メニュー

動画画質	4K※1	ISO感度※2	オート
動画手ブレ補正	標準※1	風音低減※2	切
明るさ※2	0.0	ダブル保存 (全天周)	切
ホワイトバランス ※2	オートWB		

■ セットアップメニュー

回転ロック※2	切
カメラ音	
日時設定	—

■ 無線設定

自動送信	切	無線LAN パスワード	—
自動送信 ファイル設定※2	 INT	ペアリング解除※2	—
送信時リサイズ※2	3M		

※1 撮影モードによって異なります。

※2 別売のカメラに付属しているコントローラーでのみ、設定を変更できます。詳しくは別売カメラの取扱説明書をご覧ください。

故障かな？と思ったら

現象と対処方法

現象	考えられる原因と対処
電源について	
電源が入らない。	1) お買い上げ直後、電池は充電されていません。充電してからご使用ください。 2) 本機の電池が消耗している可能性があります。電池を充電してください(11ページ)。それでもすぐに電池が消耗するときは、別冊「クイックスタートガイド」に記載の「修理に関するお問い合わせ窓口」またはお買い上げの販売店にお問い合わせください。
電源が勝手に切れた。	1) 本機の電池が消耗している可能性があります。電池を充電してください(11ページ)。 2) カメラの温度が一定温度を超えたため、保護動作が働いた可能性があります。カメラの電源を切ったまましばらく放置し、カメラの温度を下げたからお使いください。 3) 電源を入れたあと、動作確認ランプが赤く点滅して電源が切れることがあります。この場合、レンズエラーなどの内部エラーが考えられます。電源の入/切を繰り返したり、電池を充電してください。それでも解消しない場合は、別冊「クイックスタートガイド」に記載の「修理に関するお問い合わせ窓口」またはお買い上げの販売店にお問い合わせください。
電源が切れない。ボタンを押しても、カメラが動作しない。	カメラのメモリーカード挿入部付近にあるリセットボタン(6ページ)を、先が細いもので押して電源を切り、再度電源を入れてください。
充電について	
動作確認ランプが赤く点灯せず、充電できない。	1) カメラに接続しているUSBケーブルを抜き差ししてください。 2) カメラの電源が切れた状態で、USBケーブルを接続してください。電源が入った状態でUSBケーブルを接続すると、充電が開始しない場合があります。
撮影について	
シャッターを押しても撮影できない。	別売のカメラに付属しているコントローラーに“メモリー残量が足りません”と表示されている場合は、パソコンに画像を転送後、不要な画像を消去するか、別のメモリーカードをセットしてください。
ピントが合わない。	1) レンズが汚れている場合は、レンズの汚れを取ってください。 2) 手ブレしている可能性があります。カメラを置くなどして固定させて撮影してください。
画像にノイズが入る。	被写体が暗いとカメラの感度が自動的に上がるため、ノイズが発生する場合があります。ライトなどを使用して明るくして撮影してください。
撮影したのに画像が保存されていない。	記録が終了する前に電池切れになった場合、画像は保存されません。
風景が明るいのに人物の顔が暗くなってしまった。	人物が光量不足です。
海岸やスキー場で撮影すると被写体が暗くなる。	海岸や雪面からの強い光の反射に露出が合っているため、露出不足になっています。

現象	考えられる原因と対処
動画撮影中に画像がぼける。	1) 撮影範囲外のためピントが合っていません。撮影範囲内で撮影してください。 2) レンズが汚れている可能性があります。清掃してください(46ページ)。 3) 撮影開始時から被写体距離が大きく動いた場合は、ぼけることがあります。
無線機能について	
無線に接続できない。接続が途切れる。	1) カメラとスマートフォンが離れていると、カメラに接続できません。 2) スマートフォンが他の無線機器と接続している可能性があります。スマートフォンのWi-Fi設定で、本機が選ばれているか確認してください(27ページ)。 3) 電子レンジやコードレス電話機、他の無線機器などを近くで使用している場合は、接続が途切れることがあります。機器から十分に離してお使いください。
SSIDとパスワードを忘れた。	カメラの【●】(ムービー)とシャッターを押したまま【⏻】(電源)を6秒以上押し続けます。カメラの動作確認ランプが消灯し、パスワードが初期値に戻ります。パスワードを初期化すると、カメラとスマートフォンのペアリングが解除されますので、再度ペアリングを行ってください。パスワードの初期値については、27ページをご覧ください。
その他	
パソコンにUSB接続しても画像が取り込めない。	1) USBケーブルが確実に接続されていない可能性があります。コネクタ端子部を確認して、確実にカメラに接続してください。 2) カメラの電源が入っていない場合は、電源を入れてください。 3) USBケーブルをUSBハブなどを經由してパソコンと接続すると、正常に認識しない場合があります。USBケーブルはパソコンのUSB端子に直接接続してください。
電源を入れた直後、ボタン操作ができない。	メモリーカードの容量が大きい場合、電源を入れてからボタン操作ができるまでの時間が長くなります。

撮影可能枚数／撮影可能時間

静止画

静止画サイズ (pixels)	画像ファイル サイズ	内蔵メモリー※1 での撮影枚数	microSD メモリーカード※2 での撮影枚数
全天周(3888×3888)	3.68MB	12	4117
パノラマ(7456×1864) ※3	3.40MB	13	4458
超広角(3232×2424) ※3	1.93MB	23	7837

動画

設定内容/ pixels(音声)	転送レート (フレームレート)	1ファイル 最大サイズ	内蔵 メモリー※1 での 撮影時間※4	microSD メモリー カード※2での 最大記録 可能時間	1分録画時の ファイル サイズ
1:1 1440×1440 (ステレオ)	18メガビット/秒 (30フレーム/秒)	29分 または 4GBまで	18秒	1時間53分	134MB
パノラマ 2880×720 (ステレオ)※3	18メガビット/秒 (30フレーム/秒)		18秒	1時間53分	134MB
4K 3840×2160 (ステレオ)※3	76メガビット/秒 (30フレーム/秒)		4秒	27分	562MB
FHD(60fps) 1920×1080 (ステレオ)※3	28メガビット/秒 (60フレーム/秒)		12秒	1時間14分	205MB
FHD(30fps) 1920×1080 (ステレオ)※3	18メガビット/秒 (30フレーム/秒)		18秒	1時間53分	134MB
HS120 1280×720 (なし)※3	24メガビット/秒 (120フレーム/秒)		14秒	1時間27分	174MB
HS240 640×480 (なし)※3	24メガビット/秒 (240フレーム/秒)		14秒	1時間27分	174MB
STD 640×480 (ステレオ)※3	3メガビット/秒 (30フレーム/秒)		1分43秒	10時間22分	24MB

※1 内蔵メモリーをフォーマット後の容量(約46MB)の場合です。

※2 16GB：SanDisk Corporation製 16GB microSDHCメモリーカード場合(記録時間はメモリーカードによって異なります)。

※3 専用アプリEXILIM Connectまたは別売のカメラに付属のコントローラーで設定できます。

※4 内蔵メモリーでは、動画の転送レートを十分に満足できない場合があります。超高速タイプのメモリーカードをご使用ください。

- 撮影枚数／撮影時間は目安(おおよその数値)であり、画像の内容によって少なくなることがあります。
 - ファイルサイズ／転送レートは目安(おおよその数値)であり、撮影対象によって変化することがあります。
 - 容量の異なるメモリーカードをご使用になる場合は、おおむねその容量に比例した枚数が撮影できます。
 - ハイスピード動画撮影時は、撮影時間と再生時間が異なります。ハイスピード動画で10秒間撮影すると、再生時間は以下になります。
 - HS120の場合:40秒
 - HS240の場合:80秒
-

主な仕様／別売品

画像ファイル形式 静止画: JPEG(Exif Ver.2.3/DCF2.0準拠)
動画: MOV形式、H.264/AVC準拠、IMA-ADPCM音声(ステレオ)

記録媒体 内蔵フラッシュメモリ(画像記録エリア: 46MB※)
microSD/microSDHC/microSDXC
※内蔵メモリーをフォーマット後の容量

記録画素数 静止画:
※1 全天周:
単写 3888×3888/
連写 1936×1936
パノラマ:
単写 7456×1864/
連写 3840×960
超広角:
単写 3232×2424/
連写 1600×1200
動画:
1:1(1440×1440 30fps)/
パノラマ(2880×720 30fps)/
4K(3840×2160 30fps)/
FHD(60p)(1920×1080 60fps)/
FHD(30p)(1920×1080 30fps)/
HS120(1280×720 120fps)/
HS240(640×480 240fps)/
STD(640×480 30fps)

有効画素数 1195万画素

撮像素子 1/2.3 型CMOS(裏面照射型)
総画素数: 2114万画素

レンズ/焦点距離 円周魚眼レンズ
F2.8/f=1.35mm(35mmフィルム換算13.4mm相当)

フォーカス フォーカス方式: パンフォーカス

撮影距離範囲(静止画)(レンズ先端から) パンフォーカス: 約40cm~∞

通信機能 Bluetooth:
•通信規格:
Bluetooth ver.2.1+EDR
出力クラス: Class2
Bluetooth Smart
Wi-Fi:
•準拠規格: IEEE 802.11b/g/n
•使用周波数範囲: 1~11ch
•暗号化方式: WPA2

外部接続端子 マイクロUSB端子(Hi-Speed USB準拠)、USB充電、USB給電駆動対応)

マイク ステレオ

スピーカー モノラル

電源 リチウムイオン充電電池(内蔵)

※1 設定するには、スマートフォンに専用アプリEXILIM Connectをインストールする必要があります。

電池寿命

下記の電池寿命は温度23°Cで使用した場合の電源が切れるまでの目安であり、保証時間または保証枚数ではありません。低温下で使うと、電池寿命は短くなります。

静止画撮影枚数	約260枚※1(コントローラー接続時※2) 約265枚※3(カメラ単体動作時)
動画実撮影時間(全天周動画)※1	約1時間
動画連続撮影時間(全天周動画)※2※3	約1時間35分
動画連続撮影時間(ハイスピード動画HS240)※2※3	約1時間15分
連続再生時間(静止画)※2※4	約3時間55分

- 温度:23°C
- 使用電池:NP-170(定格容量:950mAh)
- 記録メディア:16GB microSDHCメモリーカード(SanDisk Corporation製 UHS-1 シリーズ)

※1 CIPA(カメラ映像機器工業会)規格に準ずる

※2 別売のカメラに付属しているコントローラーとの接続時

※3 カシオ基準による

※4 約10秒に1枚ページ送り

- 前記は、新品の電池のフル充電状態での数値です。繰り返し使用すると、電池寿命は徐々に短くなります。
- この数値は実際の使用での電池寿命を保証するものではありません。
- 高速連写の使用頻度や電源が入った状態の時間、その他設定、使用時の温度により、撮影時間または枚数は大幅に異なる場合があります。

消費電力 DC 3.7V 約3.6W

外形寸法 直径60.9mm×奥行き40.7mm
(ヒンジユニット含まず)

質量 約100g(ヒンジユニット含まず、メモリーカード含む)

■ USB-ACアダプター (AD-C54UJ)

入力 AC100-240V 50/60Hz
90mA

出力 DC5.0V 650mA

使用周囲温度 5~35°C

外形寸法 幅64.6mm×高さ38.4mm×
奥行き24mm(突起部除く)

質量 約40g

■ 別売品

(2016年11月現在:発売予定品含む)

- USB-ACアダプター AD-C54UJ
- EXILIMトライポッド
マウンター EAM-1
- EXILIMマルチアングル
クリップ EAM-2
- EXILIMマルチアングル
ベルトセット EAM-3
- EXILIMマルチアングル
スティック EAM-4
- EXILIMマルチカメラ
マウンター EAM-8

上記をはじめとする別売品の最新情報については、携帯電話やスマートフォンで下のQRコードを読み取るか、下記アドレスに接続して、Webサイトでご確認ください。また、カタログでもご確認いただけます。



<http://casio.jp/dc/option/>

別売品は、お買い求めの販売店、またはe-casio カシオオンラインショッピングにご用命ください。

URL: <http://www.e-casio.co.jp/>

CEマーキングは、ヨーロッパ地域の基準適合マークです。



Manufacturer:
CASIO COMPUTER CO., LTD.
6-2, Hon-machi 1-chome, Shibuya-ku, Tokyo 151-8543, Japan

Responsible within the European Union:
Casio Europe GmbH
Casio-Platz 1, 22848 Norderstedt, Germany
www.casio-europe.com

To comply with the relevant European RF exposure compliance requirements, this EX-FR200CA must not be co-located or operating in conjunction with other transmitter.

Note: This equipment is intended to be used in all EU and EFTA countries. Outdoor use may be restricted to certain frequencies and/or may require a license for operation.

For more details, contact your customer service representative.

Frequency band and maximum output power

- EX-FR200CA
 - IEEE802.11b/g/n(2.4GHz) ≤ 10.5 dBm
 - Bluetooth(2.4GHz) ≤ 4 dBm
 - Bluetooth LE(2.4GHz) ≤ 8.5 dBm

Hereby, Casio Europe GmbH, Casio-Platz 1, 22848 Norderstedt, Germany, declares that the radio equipment type Digital Camera Model EX-FR200CA is in compliance with Directive 2014/53/EU.

The full text of the EU declaration of conformity is available at the following internet address:<http://doc.casio.com>

CAUTION

Risk of explosion if battery is replaced by an incorrect type.

Dispose of used batteries according to the instructions.

索引

英数字

Bluetooth	22, 30
DCF 規格	40
EXILIM Connect	24
microSD メモリーカード	17
microSDHC メモリーカード	17
microSDXC メモリーカード	17
USB ドライバー	37

あ

印刷	31
----	----

さ

撮影	20
時刻	16
自動送信	29
充電	11, 51
スマートフォンで撮影	28
スリープモード	15
静止画	20

た

耐衝撃性能	42
電源	51
電池	11

な

内蔵メモリー	17
日時	16

は

バージョン情報	29, 30
パソコン	32
日付	16
ピント	20
ファイル	39
フォーマット	19
フォルダー	39, 40
プリンター	31
プリント	31
ペアリング解除	29
防塵性能	42
防水性能	42

ま

無線 LAN	22
メモリーカード	17, 54

ら

リセットボタン	56
---------	----

CASIO®

カシオ計算機株式会社

〒151-8543 東京都渋谷区本町1-6-2

MA1706-B

© 2016 CASIO COMPUTER CO., LTD.